

学校の楽しさに関する一考察 ～高校の学校生活に着目して～

関山 拓弥 (生涯スポーツコース 学校スポーツコース)
指導教員 中菌 伸二

キーワード：高等学校 楽しさ 学校生活

1. 緒言

「学校は楽しい所か」誰もが1度は考えたことのある疑問に今の子どもたちはどう考えているのか、参考文献には書かれていなかった高校生を対象に研究したいと思った。現在、高等学校は義務教育から外れているにも関わらず、進学率は約98%とほとんどの生徒が高校へ進学している。大学への進学や就職の有利などの理由も挙げられるが、私は高校に楽しみがあって進学した生徒も多いのではないかと考えている。また、今の学校では楽しめず、楽しさを求めている生徒がいるのではないかと考えた。そこで、現在の高校生は学校の何が楽しいのか、又はどのような楽しみを学校に求めているのかを目的として、学校の楽しさについて学校の満足度や居心地も観点に置き、研究することにした。

2. 研究方法

本研究の調査対象は、大阪府立I高等学校の1～3学年の男女合わせた342名(男157名、女185名)に学校の楽しさに関するアンケート調査を行い、その結果を問ごとに円グラフで表した。アンケートの内容は高校へ進学した理由をはじめ、学校の楽しさ(4項目)、学校の満足度(6項目)、学校の居心地(5項目)の計16項目で、回答方法は選択式と記述式を使用した。

3. 結果と考察

現在の高校生は、学校に行きたいと思えるよ

うな楽しさを求め、そこには友人との関係の良し悪しや学校行事が影響しているのではないかと考える。また、学校の満足度の観点からは、学校の楽しさと関係性は見つからず、学校の居心地の観点からは、よく使われている場所ほど生徒にとって居心地の良い場所となると結果が出た。また、居心地が良いとされる理由に友人関係が挙げられたことから、居心地の良さも学校の楽しさに関連性があると考えられる。このことから、学校行事の充実、良好な友人関係、居心地の良い場所の確保が学校生活を楽しむために必要なことであると推測する。

4. まとめ

本研究では、現在の高校生が考える学校の楽しさや学校の居心地との関係性について知ることが出来た。しかし、学校の楽しさと満足度の関係性について見出せていないことや不確かな部分が多く、より正確なものへとするためには、他の高等学校への調査も必要である。

引用・参考文献

ベネッセ(1988) 高校生の校内行動～いごこちのよい心理的空間を求めて～. ベネッセ教育総合研究所. 24.

古市裕一(1997) 小・中学生における学校の楽しさとその規定要因. 日本教育心理学会総会発表論文集. 39: 248.

Kanko(2008) 「学校に対する満足度調査」.

http://kanko-gakuseifuku.co.jp/hr/wp-content/uploads/sites/6/2013/06/hr_37.pdf.